

令和5年 2月10日

令和4年度 社内監査（事業者自己評価）

一般社団法人 あまね

重症児デイルーム AQUA

○就業中の職員で評価を行いました。

- 1, よくできている。
- 2, まだ改善の余地があり満足できていない。
- 3, 改善の必要がある。
- 4, わからない

以上の4段階で評価しました。多数の職員が2・3と評価した項目については、改めて改善に向けての対策を検討しました。4と評価した項目については職員への実施状況を周知いたしました。
担当 一般社団法人あまね 徳永 尚子

		評価者														職員からの意見	改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
		管理者	岸田	江里口	石隈	中園	大串	琴岡	上瀧	諸永	福田	古賀	田代彩	杉本				
		チェック項目																
体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係上適切であるか	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	2	1	1		・利用する子どもが多い時は、スペースが少し狭く感じることがある	安全に支援行えるように活動場所、同線を考える
	2	職員の配置数は適切であるか	1	1	1	1	2	4	1	1	1	1	1	1	1		・自分の動きがまだわからないことが多く、指示をもらって動く時もあり、職員の配置数が適正なのか自分がそれを評価するまでに至っていない ・基本的にはしっかりと支援ができる体制である。学校の長期休業中等、朝からの利用が多い時にはもう少し人手があればより良いと感じることもある	配置基準以上のスタッフを配置しており、利用者が多い時は業務を分担している
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか	2	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	4		・いただくご意見を基に業務改善につなげているつもりだが、受け入れ等に関しては人員や定員等の都合もあり、全てお応えできている状況ではないと思う ・入職して間もないためその機会をまだ把握できていない ・業務改善についてその場で話をすることはあるが、改めて振り返りの時間は取れていない	日頃から計画に沿った支援を行い、振り返りをしながら業務をするよう指導を継続する、業務時間にばらつきがあるため、ラインを利用して振り返りに参加できるようにしている
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4		・いただくご意見を基に業務改善につなげているつもりだが、受け入れ等に関しては人員や定員等の都合もあり、全てお応えできている状況ではないと思う ・そのことをまだどのようにされているのか理解できていないため今後確認していきたい	毎年、アンケートを実施しており意見を把握しているので、新しいスタッフにも情報共有を行う
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	4	1	4	1	1	4	1	1	1	1	1	1		・今年度は第三者による外部評価がなされていないと思われる。 第三者による外部評価がおこなわれているか、わからない ・第三者による外部評価が今年度実施されたかどうか分からない ・第三者評価が実施できていないため、実施す	第三者による外部評価を今後受けるようにする
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		・ミーティングやポジショニングなどの研修もあれば良いと思う	グーグルクラスルームを使って全体研修を実施しており、各自も自ら研修を探して研修を受けるように促す

	評価者	管理者	岸田	江里口	石隈	中園	大串	琴岡	上瀧	諸永	福田	古賀	田代彩	杉本		職員からの意見	改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
																		チェック項目
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上通所支援計画を作成しているか。	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1				
	10	利用者の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	1	1	2	2	1	1	1	2	1	4	4		<ul style="list-style-type: none"> ・まだ理解できていないため、使用しているアセスメントツール等確認し、学習して使えるようにしたい ・アセスメントツールについて話し合う機会を作る ・アセスメントツールは用意していない。今後活用できるものがあるならば検討してもよいかと思う。 ・アセスメントツールの内容を見直す必要がある ・標準化されたツールは使用できていない ・標準化されたアセスメントツールの存在を知らない 	障害特性に合わせたアセスメントツールを使用している データベースによる情報収集を各担当で行うようにし、アセスメントするようにする	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	1	2	4	2	2	2	2	1	1	2	1	2	4		<ul style="list-style-type: none"> ・おおむねできていると思うが、状況等により都度変わることもあり、対応に関しては改善の余地はあるのではないかと ・チームで行うように心掛けているが、なかなか出ていない現状もあるのではないかと？ ・勤務し始めて間もないため、携わっていないのでどうなのかわからない。 ・具体的な機会にあたっていないため、今後把握していきたい ・イベント等は話し合っているが、出来ているが、日頃の活動内容はなかなか話し合う時間が取れず、チームでは行っていないことがある ・活動プログラムの立案については保育士を中心としながらも様々な職員がアイデアを出している。チームでの立案が必ずしも出来ているわけではない。 ・その日のスタッフで話し合っ決めていく事が多く、厳密なプログラムの立案はできていない ・話し合う時間が業務の間の立ち話程度しかとれていない 	月の行事は立案しているが、日々の活動は利用者の状況を見て、前日に立案するようにする
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	1	2	4	2	2	2	1	1	1	4	2	2	1		<ul style="list-style-type: none"> ・放課後の利用は時間も短く固定化していることが多いと思う ・活動が固定化してしまうことがあるため、子どもの興味やできることに対する活動の幅を増やしていきたいと思う。 ・勤務し始めて間もないため、携わっていないのでどうなのかわからない。 ・放課後の利用時間は短いために、固定している日が多い。 ・活動プログラムは個々に応じた活動が中心であるが、活動の幅が狭いとこもあるためもう少し様々な活動を取り入れることができるとうと良いのではないかと ・自分がプログラムの立案にあまり関わっていないので分からない 	月の行事や制作は固定化しないように工夫している 日々の活動は利用者に合わせてなるべく固定化しないようにする
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	1	2	1	2	3	4	3	1	1	2	1	1	4		<ul style="list-style-type: none"> ・課題を決めている部分もあるが、細やかには支援できていない部分もある ・出来ない部分もあるため、後は他職種と連携しながら取り組んでいきたい ・その具体的な機会にあたっていないため、今後把握していきたい ・課題を設定して支援しているが、細やかな設定が出来ていない事もある。 ・個別支援計画での個々の課題はあるが、平日・休日等に応じた課題設定までは出来ていない。 ・利用する日程に合わせた課題の設定はできていない 	個別審査に沿って支援しているが、長期休みはみんなで楽しめるような課題を行うようにする

14	利用者の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる通所支援計画を作成しているか	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	<ul style="list-style-type: none"> 個別支援計画としてその子の状況によっては個別と集団での計画設定を行っている子もいるが、全利用者が出ていないわけではない。 	利用者の状況に合わせて計画書を製作するようにする
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	2	1	1	2	2	1	1	2	1	2	1	2	2	1	2	2	<ul style="list-style-type: none"> 情報はこまめにラインにあげるようにし、情報漏れがないように、口頭でも勤務中もスタッフに声をかけるようにしている。 ・始業時間が異なったり、送迎でそろわなかったりと全員での打ち合わせは難しいが、変更内容やその日の体調、特記事項はラインに上げ、声掛けしあうなどで確認していく。 ・私自身がその流れに乗れていないことがあり、気を付けてやっていたいと思っており、評価は難しい ・勤務時間、利用者の来所時間が違う為、必ずしも出来てはいないが、ラインで情報共有している。 ・当日や前日の支援開始前の話し合いはできていない。勤務時間・利用者の来所時間が重なり毎回の実施は難しいところもあると思う。可能であれば実施できると良いと思う。 ・管理者がいない時も自分たちで確認をするようにしていく。徐々にできるようにはなっている。 ・始業時間や利用者の来所時間がバラバラであり、支援開始前に打ち合わせすることが難しい ・業務開始時間が個々で違うため確認しあう時間が少ない ・終業時間が異なり、集まっての打ち合わせは出来ない。 	スタッフの業務時間が異なる為、全員がそろって打ち合わせが難しいため、ラインを活用して確認している
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか	2	1	1	2	2	1	1	2	1	2	1	3	2	1	3	2	<ul style="list-style-type: none"> 支援方法などは勤務時間内にその都度相談し、話し合って改善するよう努めている。新たな支援はラインで共有するように努めていく。 ・私自身がその流れに乗れていないことがあり、気を付けてやっていたいと思っており、評価は難しい ・行っているが、勤務時間もそれぞれで出来ていない状況も多い。その日ではないが、職員の会議の際に振り返りを行っている。 ・支援終了後の話し合いは出来ていない。振り返りができるとよいと思うが、勤務時間の事情もあるため現実的な難しさは課題であると思う。 ・短時間労働のスタッフとの振り返りが難しいので、ラインを利用して共有している。 ・就業時間がバラバラであるため、支援後の振り返りをみんなですることが難しい ・支援終了の時間が個々で違うため立ち話程度しか話し合う時間 	スタッフの業務時間が異なり、全員がそろって打ち合わせが難しいため、ラインを活用して確認している

	評価者	管理者	岸田	江里口	石隈	中園	大串	琴岡	上瀧	諸永	福田	古賀	田代彩	杉本		職員からの意見	改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
																		チェック項目
適切な支援の提供	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2				
	18	定期的にモニタリングを行い、支援計画の見直しの必要性を判断しているか	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	1	1	1	1	3	4	4	1	4	1	1	1	4		・ガイドランを知識として知らない部分もある。今後学ぶ必要があり、努力していきたい。 ・ガイドラインの理解が不十分のため、評価できるように理解していく予定 /・ガイドラインの基本活動を組み合わせた支援は出来ていない。	ガイドラインの周知を行い、支援を行うように指導した
	20	相談支援事業所のサービス担当者会議にその利用者の状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4		・ガイドランを知識として知らない部分もある。今後学ぶ必要があり、努力していきたい。 ・その機会をまだ経験できていないため、今後この視点でみていきたい	参加者は利用者の担当者になるべく参加できるように調整を行っている
	21	学校との情報共有(年間計画)・行事予定等の交換、子供の下校時刻の確認等)連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
	22	医療的ケアが必要な利用者を受け入れる場合は、利用者の主治医等と連絡体制を整えている	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	1	1	2	2	2	4	2	1	1	1	1	4		・関わっていない部分もあり、今後気をつけて見ていきたいと思う ・直接話し合いをする場はあまりなく、書類上や人伝い、両親に聞いている状況なので、リモートや支援員さんとのつながりも大切にしていきたい。 ・その機会をまだ十分経験できていない ・十分に出来ている部分もあるが、移行後の様子を伺ったり、現在園と児童発達支援事業所を併用している子どもの情報共有がもっと気軽にできればと思う。 ・引越等により利用が開始した子の以前利用していた通所施設での様子は保護者からの口頭確認のみの場合がある。転園先の通所施設についても退所前情報共有の場の確保が出来ればと思う。	スタッフにも積極的に他事業所や保育園幼稚園と情報共有するように指導を行う
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	1	1	1	1	1	4	1	4	4	1	1	4		・関わったことがないためからない	情報提供は実施している 移行支援会議にも参加している	

	評価者	管理者	岸田	江里口	石隈	中園	大串	琴岡	上瀧	諸永	福田	古賀	田代彩	杉本	職員からの意見	改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
																	チェック項目
適切な支援の提供	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	2	1	2	2	2	3	1	1	1	1	2	4	<ul style="list-style-type: none"> 療育センターでの研修は受けたことがあるが、重心さんにどのように適応させたらよいか難しく感じていて、実践できていない 具体的には関わっていないのではと思う。研修は定期的に行っている その機会をまだ十分経験できていない 日程が合わずに受ける事が出来ない事がおおいが、zoomで参加したり社内でも専門機関の講師による研修も行われている。 社内研修では専門機関の講師による研修を受ける機会があり、助言を聞く事が出来ている。他の児童発達支援センターとの連携については出来ていない。 研修の都合が合わずになかなか参加できないので、zoomの研修などを探して参加する。 いーはとーぶは研修があつているが、AQUAは全 	重心の利用者向けの研修はあまりなく、療育センターの研修には参加しているが、なかなか活かせていなかった 現在は発達障害の利用者もありAQUAでも研修が受けられるように準備、依頼している
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子供と活動する機会があるか	3	2	1	2	3	4	3	1	2	2	2	3	2	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍により、機会を持っていない コロナもあり出来ていない現状がある。今後は、取り組んでいきたい コロナ流行中であり難しい。 コロナの為、他の児童との関りがほとんどできていないと思う。 コロナ禍であり難しいと思われる こども園の園庭開放等少しずつ交流が出来始めているが、コロナ流行に伴いまだ十分ではない。 コロナになり、交流の機会は激減している。ようやく交流できる保育園が見つかったので今後の交流に期待している。 現在、普通保育園との交流を進めている。 コロナ感染症予防の為、現在は活動が難しい 	
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	3	1	1	2	1	4	1	1	4	4	1	4	4	<ul style="list-style-type: none"> 関わったことがない コロナ禍であり難しいと思われる 夏休み等長期休業中に行われる事が多く、現場が忙しく参加できない事が多いが、調整できるときにはなるべく参加するようにしている。 放課後の時間に会議が多いため、参加できない状況があるが、調整出来る時は参加する。 参加したことがたいてい分からない 参加しているかどうか分からない 	協議会へは参加しており、スタッフへ周知を行なった 参加後に内容をスタッフに周知する
	28	日頃から利用者の状況を保護者と伝え合い、利用者の発達の状況や課題について共通理解を持っているか	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	1	1	2	1	1	1	1	4	2	2	4	1	<ul style="list-style-type: none"> 保護者への指導やアドバイスなど、もう少し質の良いものをアドバイスできるようにしていきたいと思う。 保護者への指導等は行ったことがない ペアレントトレーニング等の研修会を開催する事は行っていないが、個別支援会議や日頃の様子をお伝えする場で、成長が感じられた出来事やそれに至るまでの関りや声掛け等を伝える事がある。 スタッフのペアレントトレーニングに関する知識や技術に差があり、十分な支援が出来ているとは言えない ペアレントトレーニングをしているところを見た 	スタッフにより、ペアレントトレーニングに差はあるが、適宜支援は行っている。

30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ必要な助言と支援を行っているか	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1		<ul style="list-style-type: none"> ・適切に助言や支援を出来ているか不安に思うことがある ・保護者への指導やアドバイスなど、もう少し質の良いものをアドバイスできるようにしていきたいと思う。 	適宜対応し、スタッフ間で話し合って助言するようにしている
32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	2	4	2	2	1	3	1	4	1	4	4	2		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により、機会を提供できていない ・コロナもあり出来ていない現状がある。今後は取り組んでいきたい。 ・コロナ流行中であり難しいと思います。 ・勤務し始めてまだ浅いため、父母の会などが行われているか、携わっていないのでわからない。 ・関わったことがなく、分からない ・コロナ禍であり難しいと思われる ・コロナの影響もあり、保護者会が開催できなかったり、オンラインでの開催となり、連携の機会を作る事ができない状況である。 ・コロナになり対面での保護者会の実施は出来ていない。父母同士が交流できる機会を持つことが出来ればよいと思う。 ・感染症予防のために、SNSや会報を使用して保護者会を実施しているが、保護者同士の連携の支援は難しい状況である。 	集まったの保護者会はコロナ禍で出来ていないが、会報などで事業所の現状等は報告を行っている

